

平成21年度 東北大学附属図書館 事業報告

教 育	本館開館時間の大幅延長
-----	-------------

教 育	学生用図書の整備
-----	----------

教 育	図書館活用のアピール
-----	------------

教 育	入学前から図書館をPR
-----	-------------

教 育	情報リテラシー教育支援
-----	-------------

教 育	蔵書目録の遡及入力促進
-----	-------------

研 究	和算ポータルが日本数学会出版賞を受賞
-----	--------------------

研 究	東北大学機関リポジトリ（TOUR）
-----	-------------------

研 究	電子ジャーナル経費の基盤経費化
-----	-----------------

社会貢献	企画展「江戸のサイエンス」開催
------	-----------------

社会貢献	図書館でリベラルアーツサロンを開催
------	-------------------

教 育 — 本館開館時間の大幅延長

- ◇ 本館の開館時間を大幅に延長し、入館者数が前年度から10万人増えました。またそれに伴い、利用環境も順次整備しています。

本館の開館時間を、平日 8:00～22:00／休日 10:00～22:00 と大幅に延長し、年間開館時間数は国立大学でトップとなりました。また、長時間快適に利用できるように、飲食可能エリアの設定やミーティングテーブルの設置など、館内の利用環境を順次整備しています。

これにより、年間の入館者数が前年度に比べて10万人以上増え（2割増）、63万人を超えました。

（懸垂幕で開館時間を告知）



（ラウンジ：飲食可能エリア）



（ブラウジングルーム：飲食可能エリア）

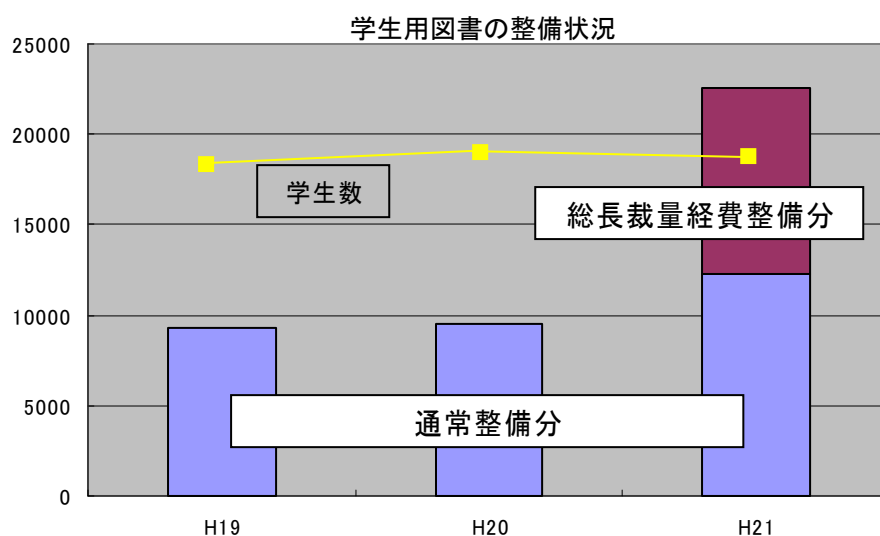


- 飲食可能エリアを設定し、パン、ペットボトルの自動販売機を新たに設置しました。
- 閲覧室内へのペットボトル・水筒の持ち込みを可能にしました。

教 育 — 学生用図書の整備

◇ 総長裁量経費を獲得し、目標としていた 18,000 冊（学生一人あたり一冊）を超える 22,540 冊を整備しました。

新刊の基本的学習図書のみならず、利用頻度が多いため傷んだ図書、冊数不足の図書ならびに改訂版が出版された図書の補充を行う一方、欧米の大学で教科書として用いられている洋書を整備しました。また、学生による書店店頭での選定も実施し、より学生のニーズに沿った図書を整備しました。



教 育 — 図書館活用のアピール

◇ 図書館の存在をアピールし、活用してもらうため、新たに種々の整備を行いました。

学生等への図書館の認知度を向上させ、活用してもらうために、広報設備の設置、広報資料の作成等を行いました。

(看板“LIBRARY”)



(懸垂幕)



(館内案内タッチパネル
～ 日・英・中・韓 4か国語対応～)



(図書館 MAP ～学内 18 館・室を掲載～)



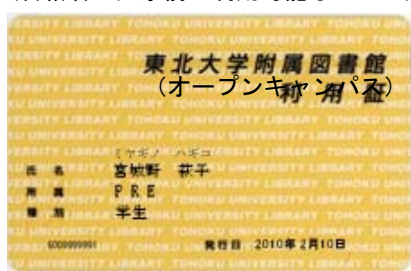
教育 — 入学前から図書館を PR

- ◇ AO 入試・推薦入試合格者への図書館事前利用体験の実施や、高校生の見学受入により、大学入学前から図書館を PR しました。

AO 入試・推薦入試合格者 187 名に対して図書館利用証を送付し、入学前に利用できるようにしました。

また、オープンキャンパス等で高校生が多数を訪れ、大学図書館の膨大な蔵書やアカデミックな雰囲気を知ってもらうことができました。

(合格者が入学前に利用可能なカード)



(オープンキャンパス)



(科学者の卵 養成講座)

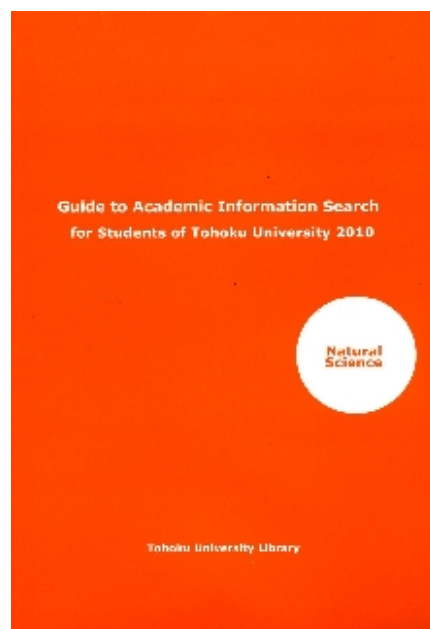


教 育 — 情報リテラシー教育支援

- ◇ 「情報探索の基礎知識」の基礎編と英語版を新入生、留学生に配布し、全学教育科目「大学生のための情報検索術」を実施しました。

情報リテラシー教育支援のため、「情報探索の基礎知識」の基本編を 3,500 部作成し、新入生 3,000 人に配布した。また、英語版を 200 部作成し、学内の新入留学生に 150 部配布しました。

全学教育科目「大学生のための情報検索術」を後期に開講し、71 人が受講しました。

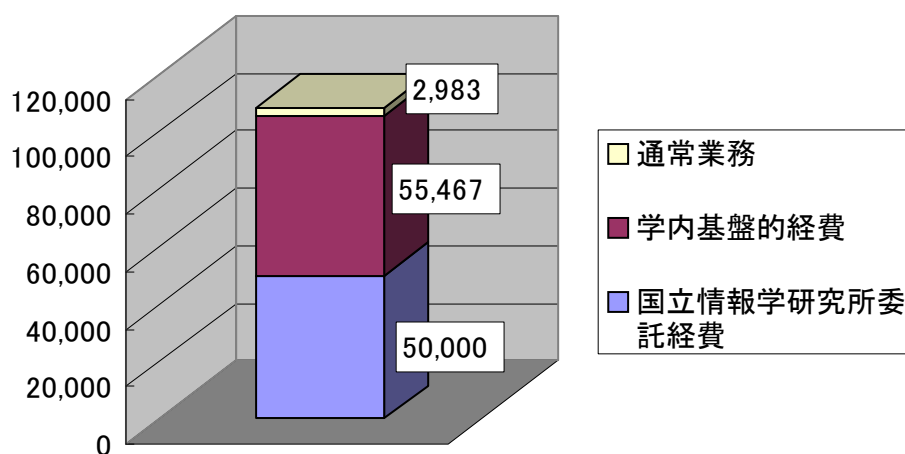


教 育 — 蔵書目録の遡及入力促進

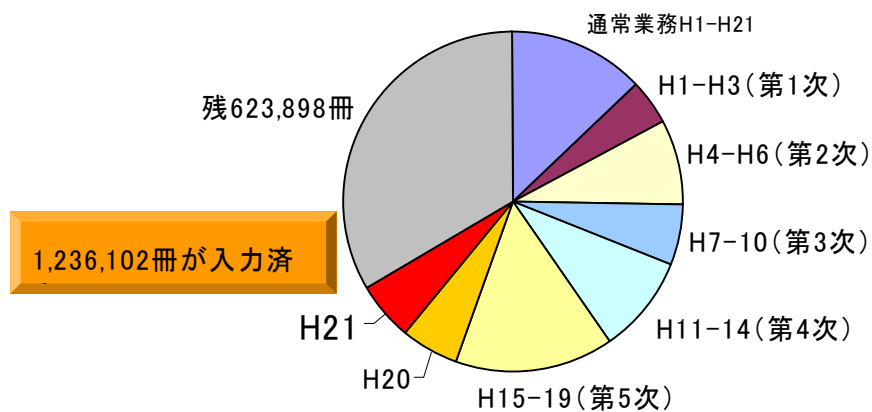
- ◇ 国立情報学研究所の委託経費及び学内経費（基盤的経費）を獲得し、105,467 冊の蔵書目録の遡及入力を実施しました。

医学分館、北青葉山分館、工学分館、流体科学研究所、本館の所蔵資料を対象とし、合計 105,467 冊の蔵書目録の遡及入力（通常業務分を除く）を実施しました。昨年度と同様に年間入力数は従来の 2 倍以上となり、図書館資料の一層の活用が期待されます。

平成21年度の経費別遡及入力冊数



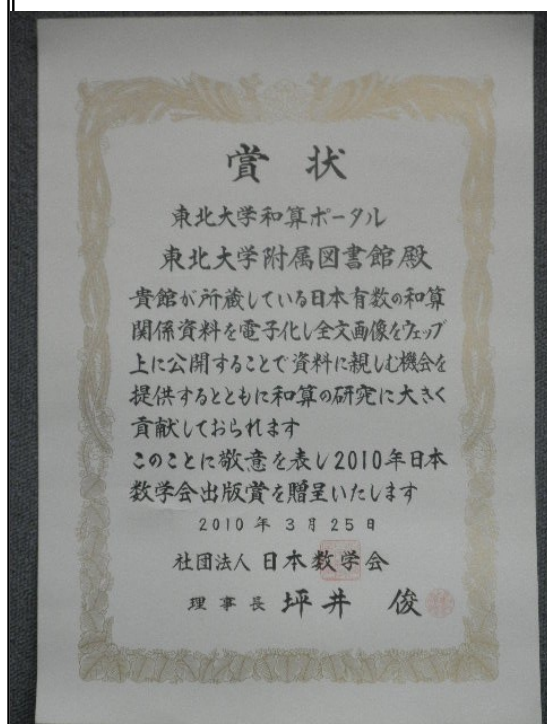
附属図書館遡及入力状況（平成22年3月31日現在）



研 究 — 和算ポータルが日本数学会出版賞を受賞

◇ 図書館のウェブサイトで公開している「東北大学和算ポータル」が、日本数学会の出版賞を受賞しました。

東北大学が所蔵している和算関係資料は日本有数のものであり、それらを電子化し全文画像をウェブ上に公開することで資料に親しむ機会を提供するとともに、和算の研究に大きく貢献していることが評価されて今回の受賞となりました。

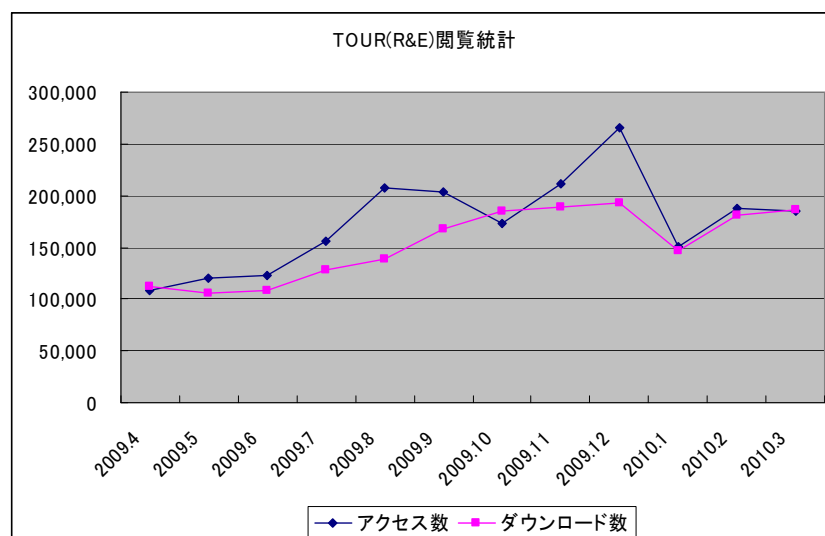
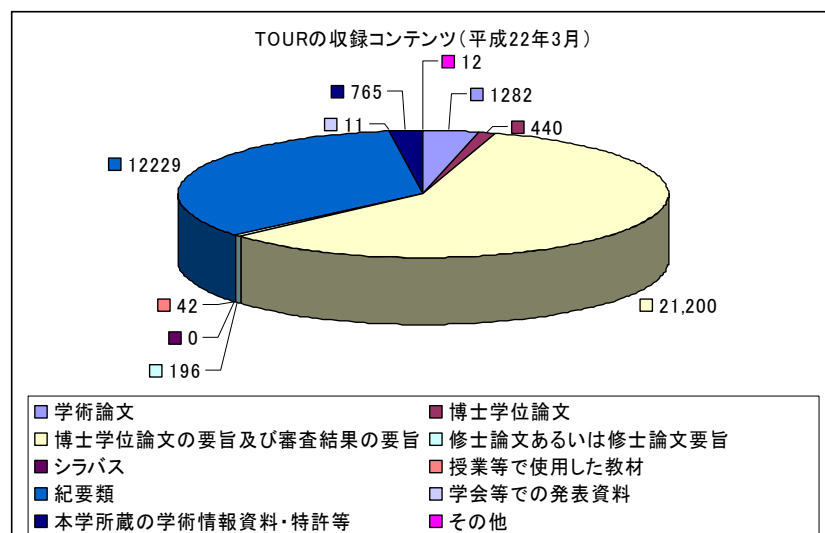


研 究 ― 東北大学機関リポジトリ（TOUR）

- ◇ 東北大学機関リポジトリ（TOUR）による学内の教育・教育研究成果の登録件数が 3 万 6 千件を超えました。

東北大学機関リポジトリ（TOUR）のコンテンツの拡充を進め、Research and Educationは3万6千件以上、Rare Collectionは1万6千件以上の学内の教育研究成果を登録しました。

それに伴いResearch and Educationの年間利用は200万件を超えています。

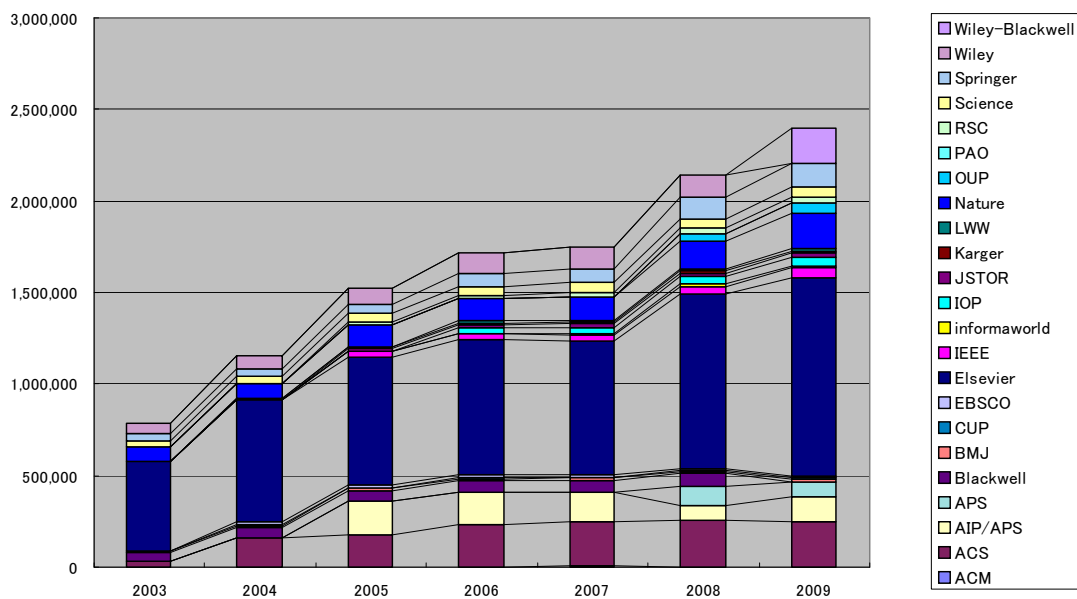


研究 ― 電子ジャーナル経費の基盤経費化

◇ 電子ジャーナル整備経費について、平成 20 年度に引き続き全学的基盤経費として 2 億円が配分されました。

平成 20 年度から全学で共同購入、共同利用している電子ジャーナル約 1 万タイトルについて全学的基盤経費が 2 億円措置されるようになりました。平成 21 年度も引き続き同経費の配分を受け、電子ジャーナルの安定供給が図られたことで利用件数も大幅に増加しました。

主要な電子ジャーナルの利用件数の推移:2003年-2009年



社会貢献 ― 企画展「江戸のサイエンス」開催

◇ 附属図書館所蔵の資料による企画展を開催し、1か月間で学内外から1,000名を超える入場がありました。

江戸学の宝庫であるコレクション「狩野文庫」の資料を中心とした企画展「江戸のサイエンス ～あたたかな科学が生まれた頃～」を、平成 21 年 10 月 23 日から 11 月 24 日まで図書館本館において開催しました。また、会期中、展示内容に関連した記念講演会を 2 回開催しました。

展示会場には 1,000 名を超える学内学生・教職員や一般市民の入場があり、本学が誇る貴重コレクションを学内外の方々にご覧いただくよい機会になりました。



(講演会「科学の劇場」吉田忠氏)



(講演会「仙台藩の天文史」黒須潔氏)

社会貢献 ― 図書館でリベラルアーツサロンを開催

◇ 市民と研究者を結ぶ「サイエンスカフェ」の文系版「リベラルアーツサロン」が図書館のフロアで開催されました。

大学図書館のアカデミックな雰囲気の中で、「東北大学サイエンスカフェ」の文系版である「東北大学リベラルアーツサロン」が開催されました。

通常どおり図書館が開館し利用されている中で、マイクやスクリーンを用いたイベントを開催するのは初の試みでしたが、学外の方々にも大学図書館に親しんでいただくよい機会になりました。

(第1回「地球温暖化問題を巡る政治と経済」明日香壽川教授)



(グループ・ディスカッション)



(フロア・ディスカッション)

